



ヘルスケア・プロショップ通信
—全国の class A 薬局から—

地域と共存することで、必然的になり得た “真”の「お気に入り薬局」 大阪府 岡村薬局



代表の岡村俊子さん（右から3人目）とスタッフの皆さん

お客さまのために、できることは何でもやりたい

大阪の玄関口、新大阪からも程近い大阪府吹田市にある、岡村薬局を訪れた。角地にある薬局のコーナー部分はディスプレイコーナーとなっており、道行く人に季節を感じさせる飾り付けでおもてなしをしている。年明け間もない取材時には、正月の花飾りと羽子板などが華やかにディスプレイされていて、道行く人々が目を留める。店内もお正月モチーフのガーランドが薬局を明るく演出していた。



ディスプレイコーナーの正月飾り

「1日の半分を過ごす薬局ですから、自分も居心地良く過ごせる楽しい空間にしたいと思って店舗内をコーディネートしています。結果、お客さまにも喜んでいただいています」と代表の岡村俊子さん。BGMも普通の薬局では聞かれない、洋楽の軽快な曲が流れている。「病院にいくと、おのずと“病人”になってしまい、疲れて暗くなってしまうと思うんです。少しでも元気になって笑って帰れる場所に、この薬局がなればいいなと思っています」

岡村薬局は昭和5年に開局し、現在の代表、俊子さんが3代目となる。本来、3代目となるはずだったご主人が早逝したため、嫁として薬局を手伝っていた俊子さんが、急遽薬局を継承することになった。当時は、大学生2人と高校生の娘さんたちとの生活のために、無我夢中で取り組んだ薬局経営だったが、“嫁”という立場の自分が営む薬局を、今までのお客さまに受け入れてもらえるか、多少の心配もあったという。しかし、逆にお客さまから励まし

助けられ、地域の皆さんと共に今まで歩んでくることができた、と感じているようだ。

薬局には、1,200種類に及ぶ商品が整然と並べられている。OTCはもちろんのこと、衛生材料や洗剤などの雑貨、サプリメントや健康食品に化粧品、漢方薬まで。ところどころに掲示してある手書きのPOPが、わかりやすい言葉で商品の説明を補足している。「お客さまから健康に関する色々な相談を受けますが、病院にかかる前の対処法として、具体的に何か提案してさしあげたいと思うんです。そうすると、おのずとたくさんの商品を扱うことになってしまっ。地域の皆さんが健康でいられるようできる限りのサポートをしたいと思いますから、なるべくご紹介できる選択肢（商品）を多く持ち合わせておいて、相談の上、提案するように心掛けています。責任をもってご紹介するためには、もちろん、試せる商品はまず自分が使ってみます。商品のことをしっかり理解してからでないと、



資生堂の化粧品も数多く扱っている



食品のラインアップも豊富



サプリメントから日用品雑貨まで



ハーブや生薬の棚



class A マーケットの商品も積極的に採用。手書きPOPを添えて

人にはお薦めできませんから」と岡村さん。休店日には、ほぼ何かしの勉強会やセミナーに参加するなど、知的好奇心も旺盛だ。

健康サポート薬局になるために、商品を置かなくてはならない、という発想ではなく、真にお客さまの健康を支えるために必然と商品が増えたという現在の岡村薬局。その他の要件についても同様、当たり前に行っていたことが必要要件であったため、特別な努力もなく、健康サポート薬局の認定、また大阪府薬剤師会のかかりつけ薬局の認定も取得できたという。

岡村さんの代になって変化したことといえば、薬局でイベントを開催するようになったことだ。「メディセオの担当者から『もっちり麦』の試食会を提案されて開催したのが初めてでした。最初は、『え？薬局で試食会？』と思いましたけど、お客さまも喜んでくださって。その後、『薬局へ行こう！ウィーク』が始まったこともあって、継続的にイベントを開催するようになりました」



店内で催されたギター演奏会の様子

取材時の1月4日には、2019年の新春イベントとして、「ギター演奏会」が開催された。薬局の待合室に椅子を並べただけの会場に、平日ながら16人のお客さまが集まり満員御礼。時にバンドの方々とお客さまと一緒に歌を歌い、心を通わす楽しいひと時に立ち会うことができた。今回、薬局でのボランティア演奏会を引き受けてくれたバンドの方々は、かつてご主人が健在だった頃お付き合いのあった仲間たちだという。人と人のつながりを大切にしてきた岡村さんだからこそ、実現できた演奏会ではないだろうか。岡村

さんが企画するイベントは、難しく考えずに、自分が面白そうだなと思うことをやってみるというスタンス。楽しいことを地域の皆さんと共有したいという発想だ。

地域に溶け込み、必要不可欠な存在となっている岡村薬局。まるで地域のお母さんのような存在に感じられた。気になることがあれば、迷うことなく相談に訪れ、適切なアドバイスと元気をもらい、笑顔になれる。これが本当の意味での、かかりつけ、いやお気に入り薬局なのだろう。



岡村薬局
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 1-21-1
TEL: 06-6384-0374
<http://www.suita-okamura.com>